

2026年度 SSH特設科目「SSII」

【第10回】 ゼミ発表リハーサル

2026年7月9日（木）



ゼミ発表までの予定(普通教室系グループ)

5/21	木	ゼミ発表教室割発表
5/28	木	ゼミ発表要項説明 ① (スライド作成方法)
6/11	木	ゼミ発表要項説明 ② (評価)
6/25	木	スライド8割以上完成 → 指導教員に見せる
7/ 2	木	スライド完成 (これ以降は微調整)
7/ 9	木	リハーサル (原稿を見ないで話せるよう練習)
7/16	木	ゼミ発表

本日の活動 リハーサル(原稿準備・スライド調整)

Step1

発表原稿を読んで時間を計ってみよう。

Step2

実際にスライドを使い、ジェスチャーも入れながら話して時間を計ってみよう。

Step3

時間の過不足があれば、スライドや原稿を修正しよう。

Step4

視線を落とし続けないよう、
できるだけ原稿から目を離して話せるようにしよう。

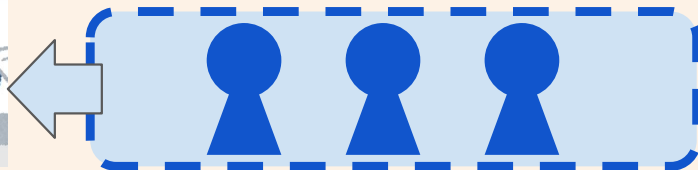
リハーサルの進め方（原則）

自分の情報端末でスライドを送りながら、
本番の発表で話すように**実際に声を出して**練習してみよう。

2チーム(or 3チーム)で、お互いの発表を聞き合い、
相互に改善できそうな点を**建設的な観点**で伝え合おう！



発表するチーム



聞き手のチーム

リハーサルの進め方（オプション）

実際に、プロジェクターでスライドをホワイトボードに投影して、練習することもできます。実質、確認作業です。

＊この練習が必要なチームは教室の先生に申し出てください。

【練習のポイント】

- 実際の**立ち位置**や**視線の向け方**を意識しましょう。
- 実際の**スライドの送り方**を確認し、発表でタイムロスが発生しないようにしてください。



より良い「聞き手」になるために

発表者

「自分一人では気づけなかった新しい視点」
という最高のプレゼント

良い質問とは？

良い質問

良い質問をするには？

「物事を多角的に捉える思考力」
を鍛える絶好のチャンス

聞き手



《 課題研究発表を「聴く」技術・「質問する」技法 》

課題研究の発表会における「質疑応答」は、発表者と質問者がお互いの視点をぶつけ合い、研究をさらに面白く、深くしていくための「アイデアの交換会」です。

良い質問は、発表者にとって「自分一人では気づけなかった新しい視点」という最高のプレゼントになり、質問者にとっても「物事を多角的に捉える思考力」を鍛える絶好のチャンスになります。

このシートを使って、4つのアンテナを意識しながらメモを取り、お互いの研究の質を高め合う価値のある質問を組み立ててみましょう。

アンテナ①	【なぜ？】(理由・背景)	【どうしてこの方法なんだろう？】と思ったら
ポイント	■ なぜこのテーマ・課題を選んだのか？ ■ なぜ他の方法ではなく、この実験や調査方法を選んだのか？	
質問の目的	発表者が結論に至るまでの「プロセス(過程)」や「意図」を深く理解する。	
質問例	「この調査方法を選んだ理由を詳しく教えていただけますか？」 「他にも選択肢があったと思いますが、なぜこの手法に絞り込んだのか教えてください。」 「この調査(実験)を行う上で、最も重要だと考えた背景やきっかけは何ですか？」	

アンテナ②	【もっと！】(興味・関心)	【面白い！この先どうなるんだろう？】と感じたら
ポイント	■ 「なるほど、面白い！」とワクワクしたポイント ■ この研究がさらに進んだらどうなるかという未来への興味	
質問の目的	発表者のモチベーションを高め、研究の「今後の展望」や「可能性」を一緒に広げる。	
質問例	「○○の部分にとても関心を持ちました。この結果は、私たちの日常生活や社会にどのように応用できそうでしょうか？」 「実験(調査)の過程で、予想外に苦勞した点や、新しく発見した面白さがあれば教えてください。」	

アンテナ③	【もし自分なら…】(別アプローチ)	【自分なら違う方法を試すかも】とひらめいたら
ポイント	■ この条件を変えたら結果はどう変わるのか？ ■ 別の材料や、違う手順でも試せるのではないかな？	
質問の目的	別の視点(新しいアプローチ)を提案し、研究をさらに多角的にする。	
質問例	「私は○○というアプローチを考えられると思いますが、今回の研究でその方法は検討されましたか？」 「もし○○という条件に変えて検証した場合、結果にどのような違いが出ると思いますか？」 「今回の調査対象を○○(別の年代など)に広げてみた場合、同じような傾向が見られるでしょうか？」	

アンテナ④	【本当かな？】(データ・事実)	【このデータだけでそう言い切れるかな？】と立ち止まったら
ポイント	■ グラフの急激な変化や、不自然に感じる数字 ■ 例外的なデータや、結論に対する根拠(エビデンス)の強さ	
質問の目的	データの解釈を確かめ、研究全体の論理的な正しさをより強固にする。	
質問例	「グラフの○○という急激な変化(または結果)について、何か原因として考えられることはありますか？」 「データの中に例外的な数値や、少し異なる傾向の数字が見られた際、どのように解釈(整理)されたか教えてください。」 「もし○○という例外的なデータや、今回の結論と異なる結果が出てきたとしたら、どのようにそのデータを捉え(分析)しますか？」	

4つのアンテナを持って発表を聴く

アンテナ ①	【なぜ？】 (理由・背景)	「どうしてこの方法なんだろう？」と思ったら 発表者が結論に至るまでの「プロセス(過程)」や 「意図」を深く理解する。
アンテナ ②	【もっと！】 (興味・関心)	「面白い！この先どうなるんだろう？」と感じたら 発表者のモチベーションを高め、 研究の「今後の展望」や「可能性」を一緒に広げる。
アンテナ ③	【もし自分なら…】 (別アプローチ)	「自分なら違う方法を試すかも」とひらめいたら 別の視点(新しいアプローチ)を提案し、研究をさらに 多角的にする。
アンテナ ④	【本当かな？】 (データ・事実)	「このデータだけでそう言い切れるかな？」と 立ち止まったら データの解釈を確かめ、 研究全体の論理的な正しさをより強固にする。

スライドチェックリスト

SSⅡ 専門的課題研究 ゼミ発表 スライドチェックリスト

チーム 番号		
	確認	項目
本文		タイトルはその研究の内容を適切に表しているか？
		所属・名前が明記されているか？
		導入となる序論や研究背景が示されているか？
		一般的でない言葉や、意味や定義があいまいな言葉を説明しているか？
		リサーチエスチョン（問い）は示されているか？
		仮説が根拠とともに示されているか？
		研究方法が具体的に示されているか？
		用いる研究方法是仮説の検証やリサーチエスチョンへの回答に適切か？
		引用文献・参考文献を各スライドに示したうえで、最後に正しくまとめているか？
		論理の流れがわかりやすいか？（ストーリーの一貫性）
		スライド1枚あたりの情報量は適切か？（詰め込みすぎでないか）
		発表の時間に対して、スライドの枚数や長さは適切か？
		不快な表現や差別的な表現が使われていないか？
		全体を通して何を伝えたいかが明確になっているか？

※ 細かな点も気を配ろう！

△ 長さ30cm ◎ 長さ 30 cm
 □ □

体裁		誤字・脱字がないか？
		フォントの種類が統一されているか？
		フォントの大きさは適切か（後方から見えるか）？
		「半角数字」と「全角文字や単位」の間に半角空白を入れているか？
図や表		図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？
		図や表に番号・キャプション（説明）をつけているか？
		グラフの縦軸、横軸に名前をつけているか？
		軸の単位が書かれているか？
		凡例（図の中で使用する記号の意味を説明するもの）が示されているか？
		図や表の説明が本文（口頭説明を想定したスライド内）でなされているか？
		引用先（出典）を明記しているか？

研究発表のスライドとしてふさわしいものであるかをチェックしよう！

★次回発表★ 要項を読み込もう！

2026年度(高校46期) SSⅡ ゼミ発表要項 [生徒用]

2026年7月2日(木) 探究科

○発表日時：2026年7月16日(木) 5・6限 (13:25-15:15)

○意義と目的：

- (1) 前年度末の中間発表会において得られたフィードバックを生かし、今年度のこままでの期間において、研究活動をどのように進展させることができたかの自己点検を行う。
- (2) 前年度末の中間発表会におけるプレゼンテーション技法の反省点を改善し、今後の外部発表に向けて発表スキルのさらなる向上を目指す。

○対象：ゼミコース・数学ラボ・情報ラボ・地学ラボの生徒（総称して普通教室系グループとします）

○発表時間：1チーム 発表5分／質疑応答2分／入れ替え1分

《 タイムテーブル 》

説明・準備	13:25-13:35	
発表Ⅰ	13:35-14:15	①13:35- ②13:43- ③13:51- ④13:59- ⑤14:07-
休憩	14:15-14:25	
発表Ⅱ	14:25-15:00(15:13)	⑥14:25- ⑦14:33- ⑧14:41- ⑨14:49- ⑩14:57- ⑪15:05-
調整・振り返り	15:05-15:15	

《 教室割・担当教員 》

発表教室	人数	発表チーム(10～11チーム/教室)									
1組	27	006	301	302	401	402	403	701	702	801	802
2組	33	003	004	005	601	602	603	703	704	803	804
3組	21	101	102	404	418	604	605	606	705	706	707
4組	22	103	104	303	304	607	608	609	708	709	805
5組	22	105	106	305	306	407	408	710	711	806	807
6組	25	008	009	107	108	409	610	611	612	808	809
7組	19	010	011	109	110	307	308	410	411	613	614
8組	19	012	111	112	309	310	315	412	413	414	712
情報教室	23	113	114	313	314	415	416	417	615	713	714
総合学習室	19	001	002	007	116	311	312	405			

○発表形式：スライド発表（タイトルスライドを含め6～10枚程度でまとめる）

○発表内容：前年度学年末中間発表会までの内容：今年度の進展させた内容
発表内容を構成する。

《 発表内容詳細 》

	発表内容	説明すること	研究計画書兼報告書	メソッド
1	研究動機	自分(たち)がそのテーマを設定しようと思った動機を説明する。自分の進路や興味・関心を社会・学術の諸問題とどのように関連付けたか説明する。	(2)研究背景	p.14 ①
2	研究背景	研究テーマとそのテーマに関する背景となる情報(＝研究テーマの分野でこれまでに取り組まれてきたこと、現状課題となっていること)をデータや先行研究や事例をもとに説明する。	(2)研究背景	p.142 ③
3	研究目的意義	研究の目的(取り組んだリサーチクエスト)及びその研究の意義について説明する。自分の課題研究が社会や学術にどのような影響を与えるか説明する。	(3)研究目的 ①リサーチクエスト ②リサーチクエストの意義	p.143 ④⑤
4	仮説と検証方法	どのような方法で研究・調査を行うかを具体的に説明する。先行研究や事例をふまえ、根拠にもとづいて仮説を立て、その仮説を検証するための適切な調査・実験を説明する。	(3)研究目的 ③仮説 (4)研究方法	p.143 ⑥
5	研究結果	研究方法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめ、考察・分析をくわえ、リサーチクエストに照らして、分かったことや分からなかったことを説明する。	(5)研究結果 (6)考察・結論	p.144 ⑦⑧

上記の表の2・3・6・7の4項目を評価（前年度学年末の中間発表会と同じ）

	観点	レベル4 (卓越している)	レベル3 (十分にできている)	レベル2 (概ねできている)	レベル1 (改善を要する)
2	課題の背景と意義への理解	知的好奇心と社会背景が結びつき、多角的根拠で意義を示す	意義は説明できるが、自身の問題意識との繋がりが不十分	意義の説明が抽象的で、なぜ自分が取り組むのかが不明瞭	研究の意義や問題意識に至った背景が説明されていない
3	問いと仮説の適切性	先行研究に基づき本質を捉えた独創的で検証可能な仮説を設定	検証可能な仮説はあるが、先行研究調査や独創性に課題あり	仮説はあるが論理的根拠が弱く、検証方法が不明確	検証可能な仮説として具体化されず、研究の軸が不明確
6	発表の明瞭性	聞き手を常に意識し、言葉・声・視線まで工夫した対話的発表	流れは分かりやすいが表現が単調で、聞き手への工夫不足	原稿に沿って説明するが、聞き手を意識せず一方的	資料を読むのみで声量不足等もあり、内容が伝わらない
7	視覚的表現のデザイン性	図表・配色を緻密に設計し、要点を強調して説得力を高める	図表を用いて整理されているが、重要情報の強調が不十分	図表はあるが配置や情報量の調整が不適切で理解しにくい	文字中心の構成で視覚的工夫がなく、理解を妨げている

タイムテーブル

評価項目

当日の教室

「探究ノート」への記録を！

Classroom 「【全般】 探究ノート」

高校46期 SS I・II (総合探究)		探究ノート					
チーム番号		クラス	1 -	番号		氏名	
共同研究者							
↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 710 柏 花子)							
【日々の活動記録】 (①を授業開始時に、②③を授業終了時に記入)							
日付	活動記録 ①今日の予定・目標 ②本日の活動内容 ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/23	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/30	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/13	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/20	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/27	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
12/4	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						

★作成のポイント★

毎回、**活動記録**は必ず書く！

①今日の予定・目標

授業開始時

②本日の活動内容

授業終了
5分前

③次に行うこと

個人でまとめるワークシートで、
その他の使い方は自由です。